

「みんなちがってみんないい」

小学校六年

「みんなちがってみんないい」この言葉は幼稚園の時に先生が教えてくれた、私が大好きな言葉です。

私は学校に友達がたくさんいます。みんな大好きです。勉強が得意な子、運動が得意な子、顔も性格も違うけれど友達になれたことはすごいことだと思います。毎日学校で友達と話したり遊んだりするのがとても楽しいし、親友もできてすごくうれしいです。私は勉強があまり得意ではないけれど、友達のおかげで毎日学校に通うのが楽しいです。

でも、友達がたまにけんかをしたり、悪口を言っているのを聞いたりすることがあります。私は友達とけんかをすることはありませんが、弟とは、よく家でけんかをすることがあります。すぐになかなかおりはしていますが……。

悪口を言ったり、けんかをしたりするのはなぜでしょう。理由の一つ目は、人間はそれぞれ物事の見方や考え方が違うので、意見が対立するからだろう

と思います。二つ目は、自分のことを優先して自分が絶対に正しいと思いい、相手の気持ちを尊重できない場面があるからだろうと思います。

二年半前から起こっているウクライナとロシアの戦争や、昨年から続いているパレスチナとイスラエルの戦争では、世界中の人々が心を痛めています。相手を尊重する気持ちがあれば、これらの戦争も、もっと違った方法で解決できたのではないかと思えます。少しでも早く戦争が終わることを願うとともに、戦争が起これないようにするための考え方を人々は学ばなければならぬと考えます。

「みんなちがってみんないい」という言葉は、みんな違うからみんな何をしてもいいという意味ではありません。ルールを守り、性格や考え方の違う相手の思いも聞いて行動することで、みんなが楽しく過ごせる日常になるという意味だと思えます。私は私らしく、お互いを認め合いながら、周りの人も大切に過ごしていきたいです。